

CONTENTS

| | |
|----|---------------------------------------|
| 03 | エコジン・インタビュー 石川直樹 「極北へ向かう旅」 |
| 06 | 特集 生き物たちのいるところ。 |
| 16 | 海外エコ事情 |
| 18 | 特集2 温室効果ガスの削減に向けて |
| 22 | エコ・ジャーナル |
| 24 | エコ百科 「改正食品リサイクル法」 |
| 26 | エコジン・レポート 「エコ町探訪」 |
| 32 | エコジン・アイ |
| 33 | エコ生活のもと |
| 34 | エッセイ 大江戸エコ帖 第五回 「汚さなければきれい」 文／石川英輔 |
| 35 | エコモノ |

エコジン Vol.5
2008年3月号

アートディレクション + デザイン
Tattaka, 泉沢備花 (Bit Rabbit)

cover撮影
キッチンミノル

福井県越前市の里地里山に棲む、絶滅危惧種のひとつである、アベサンショウウオ。いま、こうした生物の多様性を守るための取り組みが、各地で始まっています。

極北へ向かう旅

石川直樹



写真／野川かさね

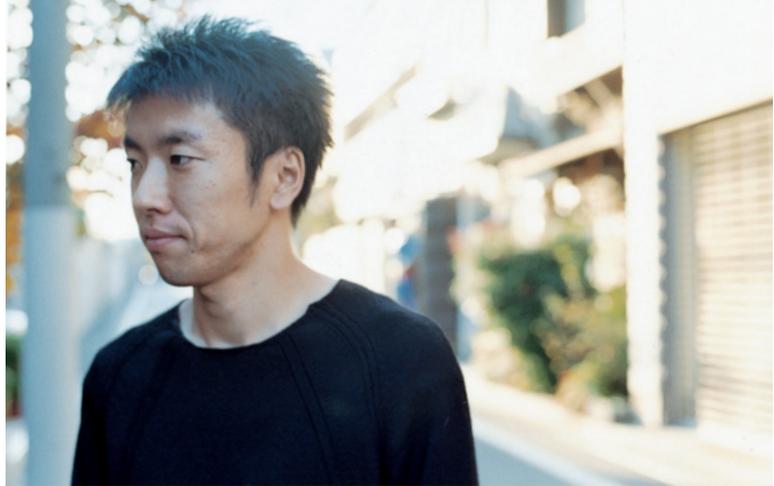


北極、南極、ミクロネシアの島々、チョモランマ、キリマンジャロ……。世界中の未知の場所を旅してきた、冒険家の石川直樹さん。北極圏への旅の軌跡をまとめた写真集『POLAR』には、極北の大地に対する特別な想いがこめられていました。

上／昨年、東京・谷中のギャラリーSCAI THE BATHHOUSEにて開催された写真展「POLAR」にて。

エコジンとは、“エコロジー + 人”、“エコロジー + マガジン”のこと。環境のことを考える人が一人でも多くなることを目指す、環境省発信のエコ・マガジンです。
※本誌の掲載文のうち、執筆者の意見にあたる部分については、環境省の見解と異なることがあります。

自然に対して、畏怖の念を常に持ち続けていたい



ふりむくと、見渡す限り氷がずっと続いている北極の地。一面の白い世界の中で、石川直樹さんは7頭の野生のシロクマと遭遇した。

「やっぱり怖かったですね。一度などは3〜4メートルの至近距離まで近付いてきたこともありました。ライフルを空に向けて撃って、シロクマを逃げさせるんですけど、その瞬間の緊張感は忘れられません。北極圏では、動物も人間も同じ目線で生きているんです。動物も人間を怖れながら適度な距離を保っていて、人間も動物や自然に畏怖の念を抱いて生きている。本来、そういうバランスの中で、世界はできているものなんだと思うんです。僕は、都市の中で暮らしていると崩れてしまうようなバランスを取り戻すために、北極に行っているのかもしれない」

石川さんは、高校時代にインドを一人旅して以来、世界中を旅してきた。2000年には、北極点から南極点までを縦断する、「POLE TO POLE」という国際プロジェクト

に参加。シロクマに出会ったのは、その旅の途上のことだ。01年にはチョモランマ登頂に成功し、世界七大陸最高峰登頂の最年少記録を塗り替えた。旅をテーマに写真を撮り続けている石川さんは、07年、自身にとって特別な地である北極圏への旅の軌跡をまとめた写真集『POLAR』を発表する。

「北極圏で暮らす人々は、アザラシなどの狩猟をして生活しています。自然保護やエコがどうのとかかって、彼らは直接的には決して言わないけれど、自分が自然に「生かされている」という感覚が身についているんです。だから、生き物を獲りすぎないようにしているし、動物たちに対する畏敬の念を忘れると、自分たちに全部はねかえってくるということをよく分かっているんですね。彼らから、僕は世界との向きあい方を学んだと思います」と石川さん。だが、その極北の地は今、地球温暖化の影響を最も如実に受けている地域でもある。「アラスカにあるシシユマレ

フという小さな村は、30年以内に村自体が温暖化による海面上昇によってなくなってしまうと言われていいます。海岸が削られて、傾いてしまった家もあります。村人は、現実をあるがままに受け止めていますね。移住できればするし、できずにそのまま暮らしている人もいます。グリーンランドでも、温暖化のせいで魚のルートが変わってしまい、新たなポイントを探さないと魚がとれないと村の人に聞きました」と、その影響を目の当たりにした石川さんは語る。

真っ白な氷の大地しかない、辺境。そんなイメージのある北極だが、そこには街があり、人が住んでいる。住む人たちにとってはそこは辺境ではなく、中心そのものなのだ、と石川さんは言う。「都市を中心にした世界観を壊していきたいですね。その手段として、僕が一番適しているのが写真。撮り続けていると、自分の中にあつた常識や先入観といったものが、どんどん壊されていくのが、面白いんです」



上/グリーンランドでは、犬ぞりは欠かせない交通手段だ。 下/グリーンランドの北部に位置する、イルリサットの町。



石川直樹（いしかわ なおき）
1977年東京都生まれ。2000年に地球縦断プロジェクト「POLE TO POLE」に参加し、北極から南極までを人力で踏破。01年、チョモランマに登頂し、世界七大陸最高峰登頂の最年少記録を塗り替えた。現在、東京芸術大学大学院美術研究科博士課程に在学しながら、写真・映像作品を発表している。最新の写真集『POLAR』（リトルモア）を07年11月に出版。
<http://www.straighttree.com/>